



# 家庭内対策チェックシート



家庭内での地震対策について確認してみましょう!!

にし点を入れて確認してみましょう

## 1、自宅所在地の被害想定等

「富士市防災マップ」、「津波避難マップ」や「ふじタウンマップ」で確認してみてください



防災マップ



津波避難マップ

### <自宅所在地の被害想定等>

- 想定される南海トラフ地震の震度はどのくらいか（震度 \_\_\_\_\_） ※マップは市ウェブサイトでも確認できます
- 津波浸水想定区域内か（区域内・区域外）
- 津波浸水想定区域の場合、想定される津波の程度はどのくらいか（浸水深 \_\_\_\_\_ m、到達時間 \_\_\_\_\_ 分）
- 土砂災害（特別）警戒区域内か（区域内・区域外）

### <家族が離れているときに地震があった場合の対応>

- 各々の職場や学校等の所在地の被害想定を確認してある
- 各々がどのような行動をとるか、日頃から家族で話し合っている



ふじタウンマップ

スマートフォンサイトはこちら

## 2、自宅の耐震化、家具類の固定、転倒対策など

### <建物の耐震性と危険個所の把握>

- 自宅建物の耐震性は確保されている →昭和 56 年以前の建物で耐震性に不安がある場合、耐震診断、耐震補強の検討
- ブロック塀や門柱の転倒、倒壊対策をしている

### <家具類の固定>

- 自宅にある家具・大型家電等（たんす、食器棚、冷蔵庫等）を固定している
- 居間や寝室に家具類を置かないようにしている
- 家電（テレビ、電子レンジ、パソコン等）の転倒、落下防止をしている

### <落下・飛散防止対策等>

- 窓ガラスや鏡の飛散防止対策（飛散防止フィルム）をしている
- 食器棚から皿やグラスが飛び出してこないようにしている



地震対策で最も重要な対策は「死なないこと」「ケガをしないこと」「被災後も自宅で生活できる備えをすること」です。市では、耐震診断や耐震補強工事などを対象とした補助制度があります。また、家具の固定方法についても「富士市ウェブサイト」に掲載していますので、御確認ください。なお、65歳以上のみの高齢者世帯や障害者等の世帯を対象として家具等の固定を無料（金具代は有料）で行っていますので、御活用ください。

